

V. 特記事項

1. 社会人リカレント教育への取組

以下の社会人リカレント教育プログラムを文部科学省の委託事業として実施した。

■令和3（2021）年度 | ニューノーマルな観光人材育成事業

文部科学省の令和2（2020）年度第3次補正予算による「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業（就職・転職支援のためのリカレント教育プログラムの開発・実施）」に本学の「ニューノーマルな観光人材育成事業」が採択された。

採択された本学の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく変化した観光分野のニーズや雇用構造に対応するリカレント教育により、求職者のマインド・スキルをウィズコロナのニューノーマルな観光人材へと向上させ、国家の課題でもある地方への移住定住の促進につなげることを目的とした。開講したAコース「リゾート再生プロデュース人材育成プログラム」、Bコース「ローカルツーリズムプロデューサー人材育成プログラム」には、本学教員のほか、コロナ禍でも積極的に活動している観光業界の経営者、地方創生・アート関係者など幅広い分野の専門家が講師として参加した。Aコースは12名が受講、就職意欲の高い8名中2名が期間中に転職を果たした。Bコースは32名が受講、就職意欲の高い20名中12名が期間中に転職を果たした。両コースの内容はデジタル教材や冊子体の講義録として整理、活用されている。

■令和4（2022）年度 | 観光DX人材育成講座【DMOに必要な観光DX講座】

文部科学省の令和3（2021）年度補正予算による「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」の「II DX分野等リスキルプログラムの開発・実施」に本学の「観光DX人材育成講座応用編【DMOに必要な観光DX講座】」が採択された。

採択された本学の事業は、デジタル化等で急速に変化する観光分野の流通、広告手法などを踏まえ、今後増加が見込まれる訪日外国人の個人旅行客市場、新型コロナの影響でニーズが多様化した国内観光市場に対応できるよう実践的なマーケティングと観光DXの能力を育成し、リスキリング、キャリアアップにつなげることを目的とした。プログラムは、①宮城県気仙沼市、新潟県湯沢町・南魚沼市、和歌山県白浜町、沖縄県那覇市・沖縄市の先進地視察研修、②ワークショップを含むオンライン講義、③東京・大阪の2会場での対面講義で構成し、本学教員を含む11名の講師が関わった。33名の受講者のうち32名が修了し、講座への推奨度は非常に高かった。講座の内容はデジタル教材や冊子体の講義録として整理、活用されている。

横展開事業として、株式会社やまごころとの連携による「観光リカレント通信教育講座」、株式会社やまごころキャリアとの連携による「DMO関連セミナー（採用担当者向けセミナー・転職セミナー）、流通科学大学等との連携による「観光リカレント特別セミナー | 地域（DMO）が求める観光DXとは」、宮城創生DMO、TIFS（観光産業を構成する中小及び個人事業主連合会）等との連携による仙台・東京での特別セミナー、本学での観光シンポジウムも開催した。